

図書館だより

定例おはなし会

絵本などの読み聞かせや手遊びなどを行っています。お気軽にどうぞ!

日時 12月9日(土)午後3時

- ・あかいてぶくろ(絵本)
- ・きつねのえんそく(紙芝居)

12月16日(土)午後3時

おはなしボランティアゆいゆい担当

- ・このほんよんでくれ!(絵本)
- ・クリスマスのおおきなくつした(紙芝居)

12月23日(土)午後3時

- ・100にんのサンタクロース(絵本)
- ・なぜ、クリスマスツリーをかざるの?(紙芝居)

場所 沖縄市立図書館 おはなしの部屋



対面朗読のお知らせ

音訳ボランティアによる対面朗読。音訳ボランティア『そよかせ』の方々が、視覚に障がいがある方、読書が困難な方へ声でサポートします。

日時 毎月第2金曜日
午前10時30分～11時30分

場所 沖縄市立図書館 読書サポート室



▲▲▲
ホームページは
こちら

沖縄市立図書館 TEL:098-929-4919

特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

お知らせ

くがにんちゅ 今月の「黄金人」 なかそね 吉子さん



沖縄市赤十字奉仕団の会長を務める仲宗根吉子さんは今帰仁村出身で、55年前に沖縄市照屋へ転居してきました。当時は友達のいない場所での生活でしたが、公民館行事や婦人会活動へ参加することで協力し合える仲間と出会い、地域との強

いつながりが持てるようになったそうです。

赤十字奉仕団に参加したきっかけは、知り合いが活動しているのを見て「自分もやってみよう」との憧れからでした。奉仕団の活動は献血への呼びかけや募金活動、防災訓練での炊き出し指導、こどもの国動物園でのエサ切り作業など多岐にわたります。団員には定年がなく90歳代の方も可能な範囲で活動し支え合いの心を繋いでいます。

仲宗根さんは、献血や防災、奉仕という大切なことに関われることにやりがいを感じ、「何かあった時に助け合うのは地域の住民同士だから、もっと若い人達にも活動を伝えていきたい」と話されていました。仲宗根さんの想いが多くの方へ伝わっていくといいなと思います。

※「くがに」とは、大切なものが輝いているさま。「くがにんちゅ」=輝いている人
介護保険課 地域支援担当 (内線3091)

こちら沖縄市立郷土博物館

実は洗っています!

博物館や本などで遺跡から出土したもの(遺物)を見たことはありますか? その時に「土の中から見つかったものなのに綺麗な状態だな」と思った人は少なからずいらっしゃると思います。

出土遺物を皆さんにお披露目する前に行う準備がいくつかありますが、その中に「遺物洗浄」という作業があります。

遺物洗浄には決まった専用の道具はありません。歯ブラシなどの普段使用する生活用品で遺物を洗っていきます。土器など壊れやすい遺物は傷がつきにくいよう柔らかい筆で優しく洗い、細かい溝は竹串で丁寧につまんだものを取り除きます。遺物を水につけて放置したり、

力を入れすぎたりすると傷がついたり壊れたりするので、洗すぎない加減も難しいです。

しかし、遺物洗浄で文様や形がはっきり見えるようになると、どの時代に使っていたか、どんな用途で使っていたかも見えてきます。遺物洗浄は楽しくもあり大切な作業でもあります。

学芸員 上間 愛弓



遺物洗浄前

遺物洗浄後

沖縄市立郷土博物館 TEL:098-932-6882

博物館
コラム



マチイロ



マイ広報誌



子育て



健康

